



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年2月4日

上場会社名 株式会社サンマルクホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二 (TEL) 086 (246) 0309
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日 配当支払開始予定日 ——
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	30,691	10.3	4,920	11.9	4,935	10.8	2,438	3.1
22年3月期第3四半期	27,830	2.2	4,398	△2.1	4,453	△0.9	2,365	3.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	215.30	—
22年3月期第3四半期	208.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	36,208	28,923	79.9	2,553.81
22年3月期	34,251	27,497	80.3	2,427.80

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 28,923百万円 22年3月期 27,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	39.00	—	46.00	85.00
23年3月期	—	42.50	—		
23年3月期(予想)				42.50	85.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,319	9.5	6,791	9.4	6,800	8.2	3,380	3.9	298.43

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 ー社 (社名) _____、除外 ー社 (社名) _____

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	11,388,685株	22年3月期	11,388,685株
23年3月期3Q	62,962株	22年3月期	62,711株
23年3月期3Q	11,325,893株	22年3月期3Q	11,326,014株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 仕入実績	9
(2) 販売実績	9
(3) 種類別販売実績	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の減速に伴う輸出の減少や耐久財消費刺激策の効果一巡、円高の影響による企業収益の回復足踏みなどにより、景況感を徐々に弱めながら推移しております。

外食業界におきましては、雇用・所得環境の悪化に歯止めがかかってきているものの、景気の先行き不透明感の強まりから消費者の節約志向は根強く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは中長期的成長を見据え、厳選した好立地への継続的な新規出店の推進、新業態（派生業態）の開発・実験及び既存店舗のサービスレベルの維持向上に注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営3店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営3店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営5店舗、サンマルクパスタ直営1店舗、石焼ごはん倶楽部直営1店舗、石焼チャーハン店直営2店舗、台湾小籠包直営1店舗、サンマルクカフェ直営35店舗、実験中の神戸元町ドリア直営2店舗、倉敷ハンバーグ直営1店舗をそれぞれ出店し（当第3四半期連結累計期間出店数：直営54店舗）、これにより当社グループ全業態の第3四半期連結累計期間末の合計店舗数は、直営店517店舗、フランチャイズ店121店舗、合計638店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高306億91百万円（前年同期比10.3%増）、経常利益49億35百万円（同10.8%増）、四半期純利益24億38百万円（同3.1%増）となりました。

セグメント別の業績等は次のとおりであります。

レストラン事業売上高は165億48百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は31億71百万円（同8.6%増）となりました。

ファーストフード事業売上高は127億23百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は22億21百万円（同11.3%増）となりました。

(注) 当第3四半期連結累計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は後記8ページ「(5) セグメント情報 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の調整額の欄に開示しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は362億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億57百万円の増加となりました。

資産の部は、流動資産は108億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億62百万円の減少となりました。これは主に売掛金が1億5百万円増加した一方、未払法人税等の支払等に伴い現金及び預金が2億51百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は253億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億20百万円増加となりました。これは資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う建物及び構築物8億6百万円の増加ならびに事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物5億75百万円、敷金及び保証金4億27百万円が増加したこと等によるものであります。

負債の部は、流動負債は44億69百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億17百万円の減少となりました。これは未払金が2億14百万円及び未払法人税等が7億56百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、28億15百万円で前連結会計年度末と比較して13億49百万円の増加となりました。これは主に資産除去債務12億19百万円の計上に伴う増加等であります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比較して14億26百万円増加して289億23百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.9%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は33億5百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益43億41百万円の獲得、減価償却費12億93百万円及び資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額3億61百万円等によるものであり、減少の主なものは、法人税等の支払が27億1百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては22億63百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出17億61百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては12億75百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払9億25百万円及びファイナンス・リース債務返済支出が3億49百万円発生したこと等によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して2億51百万円減少し、82億45百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月12日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、部門別（セグメント別）の業績予想につきましては、平成22年11月11日付公表の決算短信のとおりであります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

- ① 固定資産の減価償却費の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。
- ② 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

- ① 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、それぞれ68,711千円減少しており、税金等調整前四半期純利益は444,092千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,228,753千円であります。

- ② 「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,245,881	8,497,601
売掛金	2,051,724	1,945,734
商品	182	342
原材料及び貯蔵品	197,144	152,026
その他	383,521	545,335
貸倒引当金	△13,937	△13,788
流動資産合計	10,864,517	11,127,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,385,089	11,003,076
土地	2,592,943	2,592,943
その他（純額）	1,841,565	1,582,940
有形固定資産合計	16,819,598	15,178,961
無形固定資産		
その他	87,154	80,843
無形固定資産合計	87,154	80,843
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,940,817	6,512,871
その他	1,496,731	1,351,240
投資その他の資産合計	8,437,549	7,864,112
固定資産合計	25,344,302	23,123,916
資産合計	36,208,819	34,251,169
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,300,630	1,274,076
未払金	1,512,424	1,726,997
未払法人税等	649,107	1,406,095
引当金	95,884	42,937
資産除去債務	9,404	—
その他	902,372	837,632
流動負債合計	4,469,824	5,287,739
固定負債		
引当金	62,751	51,825
資産除去債務	1,219,349	—
その他	1,533,199	1,414,390
固定負債合計	2,815,300	1,466,215
負債合計	7,285,125	6,753,955

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,799	3,038,799
利益剰余金	24,334,795	22,898,638
自己株式	△176,074	△175,286
株主資本合計	28,928,698	27,493,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,389	19,307
為替換算調整勘定	△12,394	△15,422
評価・換算差額等合計	△5,004	3,884
純資産合計	28,923,694	27,497,213
負債純資産合計	36,208,819	34,251,169

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	27,830,534	30,691,292
売上原価	6,270,537	6,799,802
売上総利益	21,559,997	23,891,490
販売費及び一般管理費	17,161,172	18,970,546
営業利益	4,398,824	4,920,944
営業外収益		
受取利息	2,218	4,105
受取配当金	3,531	3,230
受取賃貸料	85,623	68,234
受取補償金	35,798	—
その他	40,053	41,674
営業外収益合計	167,226	117,245
営業外費用		
支払賃借料	69,315	58,729
為替差損	9,433	17,775
持分法による投資損失	1,735	479
その他	32,212	26,181
営業外費用合計	112,696	103,165
経常利益	4,453,354	4,935,023
特別利益		
固定資産売却益	—	3,421
投資有価証券売却益	—	1,026
特別利益合計	—	4,447
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	53,688	72,910
減損損失	204,319	163,354
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	361,460
特別損失合計	258,009	597,726
税金等調整前四半期純利益	4,195,344	4,341,744
法人税、住民税及び事業税	1,795,700	1,958,110
法人税等調整額	34,044	△54,869
法人税等合計	1,829,744	1,903,240
少数株主損益調整前四半期純利益	—	2,438,504
少数株主利益	—	—
四半期純利益	2,365,600	2,438,504

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,195,344	4,341,744
減価償却費	1,070,814	1,293,474
減損損失	204,319	163,354
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	361,460
その他の引当金の増減額 (△は減少)	89,584	63,874
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	320	149
受取利息及び受取配当金	△5,750	△7,336
支払利息	10,050	7,603
為替差損益 (△は益)	9,433	17,775
持分法による投資損益 (△は益)	1,735	479
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,026
有形固定資産売却損益 (△は益)	0	△3,421
固定資産除却損	53,688	72,910
売上債権の増減額 (△は増加)	△196,063	△105,989
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31,525	△44,958
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,989	26,553
未払金の増減額 (△は減少)	△8,480	△76,822
その他	172,865	△99,160
小計	5,626,328	6,010,666
利息及び配当金の受取額	3,978	3,500
利息の支払額	△9,613	△7,899
法人税等の支払額	△2,471,285	△2,701,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,149,408	3,305,129
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,156,201	△1,761,039
有形固定資産の売却による収入	22,529	7,482
有形固定資産の除却による支出	△21,518	△5,262
無形固定資産の取得による支出	△8,222	△23,345
投資有価証券の取得による支出	△58	△52
投資有価証券の売却による収入	—	2,148
資産除去債務の履行による支出	—	△4,650
その他	△268,022	△478,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,431,493	△2,263,227
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△771	△799
自己株式の売却による収入	128	11
配当金の支払額	△811,737	△925,775
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△238,848	△349,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,051,228	△1,275,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,433	△17,775
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	657,252	△251,720
現金及び現金同等物の期首残高	6,510,970	8,497,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,168,222	8,245,881

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、外食事業を展開する上で必要なインフラ機能（業態・商品開発機能、店舗開発機能、教育機能、管理機能等）を保有する持株会社であり、グループ内の事業子会社が保有する既存の業態（既存店）の運営にできるだけ専念できる環境をつくるなどグループ内の機能設計を行っております。また各連結子会社はそれぞれ外食業態の運営を行っております。

したがって、当社グループは連結子会社を基礎としたセグメントから構成されており、「レストラン事業」及び「ファーストフード事業」の2つを報告セグメントとしております。

「レストラン事業」は、「ベーカリーレストラン・サンマルク」等の運営、「すし処函館市場」の運営、「ベーカリーレストラン・パケット」等の運営、「生麺工房鎌倉パスタ」等の運営及び「広東炒飯店（石焼ごはん倶楽部・石焼チャーハン店）」等の運営を行っております。「ファーストフード事業」は、「サンマルクカフェ」の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1・2	四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン	ファーストフード			
売上高					
外部顧客への売上高	16,548,183	12,723,871	29,272,055	1,419,237	30,691,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,548,183	12,723,871	29,272,055	1,419,237	30,691,292
セグメント利益	3,171,855	2,221,140	5,392,995	△472,050	4,920,944

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上であります。

2. セグメント利益の調整額は、当社が運営している実験業態店舗に係る売上原価305,501千円、各報告セグメントに配分していない全社費用1,585,787千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

「参考資料」

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント情報等の開示に関する会計基準の適用に伴い、従来開示していた事業統括管理部門は前記8ページ「(5)セグメント情報 2. 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の調整額の欄に開示しております。

(1) 仕入実績

当第3四半期連結累計期間の仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	3,967,814	107.9
ファーストフード	2,549,589	109.0
合計	6,517,403	108.3

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメント	金額	前年同期比(%)
レストラン	16,548,183	109.7
ファーストフード	12,723,871	111.4
合計	29,272,055	110.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

当第3四半期連結累計期間の種類別販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

種類別 セグメント	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
レストラン	14,385,017	113.6	591,497	82.1	1,571,668	92.0	16,548,183	109.7
ファーストフード	12,328,103	111.6	63,695	102.1	332,072	105.9	12,723,871	111.4
合計	26,713,121	112.7	655,193	83.7	1,903,740	94.2	29,272,055	110.4

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。